

## 1 概況

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、皆が少しずつ日常を取り戻し、それぞれに関わりやすくなった一年であった。一人の利用者が、複数の事業所を利用し、医療連携もあるケースが増えた。利用者を中心として、家族と各関係者がチームとなり支援する。その調整役としての業務が多くなっている。本人と支援者だけでなく、関係者間の信頼関係を維持するためにも「コミュニケーションをいかにとるか」が重要であった。利用者本人は、「相談する」ということに慣れたようで、コミュニケーションに難しさのある方でも、それぞれの方法で相談員に思いを伝えられるようになってきている。相談員は、それをしっかりと受け取ろうと利用者に向き合った。また、地域の子どもたちの相談も増えた。児童の相談でも、その子ども自身をよく見ることを心掛けた。その上で、保護者の不安に寄り添いつつ、その子が家庭でも関係機関でも、のびのびと自分のペースで成長できる環境を整えることを目指して相談に対応した。

7月に事業所を現所在地に移転。法人内の通所等利用者においては、各事業担当者との連携の取りやすさといった良さは残しつつ、少し距離が離れた事で、より第三者的な立場で支援チームのマネージメントができるようになった。

## 2 相談件数等状況

## (1) 計画作成及びモニタリング件数 (成人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成	5	3	3	7	10	6	4	4	5	5	4	3	59
モニタリング	16	13	16	22	17	14	15	11	19	22	20	17	202
合計	21	16	19	29	27	20	19	15	24	27	24	20	261

## (1) 障害児計画作成及びモニタリング件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成	2	0	0	4	1	0	0	3	1	2	3	3	19
モニタリング	1	2	4	0	5	5	2	0	6	1	2	3	31
合計	3	2	4	4	6	5	2	3	7	3	5	6	50

総件数 311件

## 3 相談支援事業登録者数 (2024年3月31日現在)

計画作成支援	88名
障害児計画作成支援	17名
合計	105名

## 4 職員研修等

## (1) 相談支援専門員としての資質向上と専門的知識の習得を図るため研修等に参加

- ・奈良県発達障害者支援センター であー主催 支援者向け研修会  
「発達障害とひきこもり支援について  
～ひきこもりの理解とCRAFTプログラムによる家族支援～」 (11月 1名参加)
- ・奈良市主催  
「ヤングケアラーへの支援を学ぶ～私たちができること～」 (1月 1名参加)
- ・奈良市障がい児通所支援連絡協議会 令和5年度支援者研修会  
「支援者として大切なこと～医師からのアドバイス～」 (2月 1名参加)
- ・奈良県社会福祉協議会主催 令和5年度福祉後見推進フォーラム  
「地域に根ざした権利擁護支援～自分らしく暮らし続けるために～」 (3月 1名参加)

## (2) 関係機関との連携及び地域課題への取り組み

- ・奈良市自立支援協議会 相談支援事業所連絡会議  
(6月、1月参加)
- ・奈良市自立支援協議会 相談支援部会 事例検討会  
(5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月参加)